

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第3回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会			
事務局 (担当課)	都市計画課	電話042-769-8247(直通)		
	生涯学習課	電話042-769-8287(直通)		
	公園課	電話042-707-7022(直通)		
開催日時	令和元年6月1日(土) 午前9時30分～午後0時30分			
開催場所	プロミティ淵野辺ビル 2階A・B会議室			
出席者	市民検討会 委員	23人(別紙のとおり)		
	有識者協 議会委員	5人(別紙のとおり)		
	その他	15人(各施設担当者)		
	事務局	16人(都市計画課長、生涯学習課長、公園課長 他13人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 10人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第	1 開会あいさつ 2 議事 (1) 各施設の運営面等について ・各施設の利用状況など (2) グループワーク 3 その他			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 経 過

生涯学習課長による開会の後、交代委員及び異動職員の紹介があり、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会鈴木会長の進行のもと傍聴の確認を行い、各施設の利用状況などの説明及びグループワークを行った。

2 議 事

(1) 各施設の運営面等について

- ・都市計画課から、市民検討会のこれまでの検討状況について説明を行った。
- ・各施設の担当課から、ソフト面を中心とした各施設の利用状況や利用者意見、実施事業について説明を行った。
- ・生涯学習課から、各施設の職員体制や市民が利用する諸室の利用状況、実施事業など、施設全体の概要を総括して説明を行った。

(2) グループワーク

前回に引き続き、各施設の「良かった点(残したい機能・役割)」や「気付いた点」について意見を出し合い、施設の課題や共通点、つながりなどについて考えながら、次世代に引き継ぐために、何をしたら良いのか、何ができるのかなどについてグループワークを行った。

各グループの発表及び有識者協議会の委員の講評は次のとおり。

< Aグループ >

- ・良かった点は、各施設が駅に近いこと、イベントを多く行っている施設が多いこと、施設間の連携が取れていること。特に図書館と公民館は、子ども対象のイベント事業の交流が多いこと。また、各施設が安らぎの場所であり、集う場所になっていることが良い点である。
- ・気になった点は、いろいろと意見が出たが、図書館であるのに単に鹿沼公園内にある施設としか思えないとか、鹿沼公園は防犯上の心配が多い、青少年学習センターは淵野辺駅から遠いため、無理して統合する必要があるのかといった意見があった。
- ・市民の利用においては、固定化している部分があり、柔軟性が不足しているのではないか。
- ・図書のキャパシティが小さい。

- ・次世代に何をどのように引き継いでいくかの前に、利用していない人の意見や今後の利用見込みについて、もう少し調べてから結論を出してはどうか。
- ・次世代に引き継いでいくうえで、鹿沼公園がキーポイントになる。鹿沼公園の施設の質の向上や駐車場について考えてほしい。また、淵野辺駅だけでなく、橋本駅や相模原駅の開発もあるので、そこも踏まえて淵野辺駅のまちづくりを考えてほしい。
- ・鹿沼公園を中心とするが、古いものを残すのか更新するのかは、建物だけでなく、ソフト面の考え方や事業も含めて、その中で良いものを残し、悪いものを更新していくものであり、新しいニーズに合わせていかなければ、良いまちづくりはできない。
- ・統合等をしていくのであれば、各施設の組織の連携を十分に検討していく必要がある。

< B・D合同グループ >

- 今回Bグループの出席が少なかったため、BとDが合同でグループワークを行った。
- ・良かった点は、職員が問題点を十分に把握していること、施設の場所が近く連携が取れていること、図書館は学校や公民館と連携して事業を行っていること。
 - ・鹿沼公園の説明は、利用者の傾向がよく出ていたので、今後の参考になるのではないか。
 - ・気になった点は、多く出た。前回も言われていたが、設備が古いので改修が必要ではないか、また市の予算を考えなくて良いのか、人口が減少していくので、必要とする施設の対応がよくわからないとの意見があった。
 - ・駐車場については、鹿沼公園も駐車場が少ないので、有料化した方が良いのではないか。
 - ・青少年学習センターなどは、部屋の貸出しが無料になっていることから、無断でキャンセルする人が多いため、有料化したら良いのではないか。
 - ・図書館では、図書スペースや読書スペース、パソコンが使えるスペースが欲しい。また、YAコーナーでは、10代が利用しているのをあまり見かけないので、子どもたちにもっとたくさん利用して欲しい。
 - ・部屋の利用については、特定の時間帯を確保できる仕組みを考えたり、人数の制限を設けたりできないか。
 - ・公民館は、青少年学習センターのように音楽ができるスペースがあると良い。
 - ・公民館を利用する人が多いので、部屋が取りにくい状況であるとの意見があった。
 - ・全体的に、気になる点の意見が多く出た。

・「次世代に引き継ぐために」ということでは、時代のニーズに合わせた変更が必要ではないか。そのために、今皆さんが集まっているいろいろ検討しているのだと思う。

・各施設の会議室等を集約することで、同じような目的であれば統合して効果的に使えるのではないか。また、児童館は図書館の中に入れたらより効率的ではないか。

・全体としては複合化・集約化することによって、効率的な部屋の使い方ができるのではないか。

・公民館については、利用の仕方をもう少しPRして、もっとたくさんの方に使っていただけるようにしたらどうか。

・公園については、設備の充実についての希望がいくつかあり、芝生をもう少し整備するとか、周辺の道路を拡充するとか、公園が非常に歩いて近いので現状維持をしてほしい、というお話もあった。

< Cグループ >

・資料と説明がすごくわかりやすかったので、現状把握ができた。

・良かった点は、公園の利用状況の把握ができていてよくわかったこと。また、公民館と青少年学習センターでは、イベントの開催等が積極的に行われていた。

・気になった点は、図書館には保持している本が多いが、表に出るものがあまりないということ。また、図書館で飲食ができないことについては、他市では、飲み物だけ良いというところもあるとのことなので、その辺も課題なのではないか。

・子どもを育てるという意味では、授乳室が仮設という施設が多かったのが、気になった。

・「次世代に引き継ぐために」ということで、キーワードは「つながり」ではないかと思った。他施設とのコラボや、子どものつながり、居場所、空間、防犯といった点で、コミュニケーションを取りながらやっていくことが起点になるのではないか。

・時代に合わせたものという点では、外国人の住民の方が増えているので、住みやすさもポイントになるのかなと思った。

・新しいまちになりつつも、良い文化は残していきたいと思う。

< Eグループ >

・公園に満足しているというのが皆さんある。

・今回の資料はとても分厚く、市の方が大変だったかと思うが、それぞれの良いところと課題が洗い出され、まとめてあったので、その資料をもとに確認ができ、

私たちが今後考えていくのにとっても役立つので、とてもありがたい。

・気になった点はたくさんあり、公民館や青少年学習センターでは、同じ事業や利用者の重複が見られるので、その部分がどうにかならないのか。

・施設の老朽化、重複化にもつながるが、利用率の偏在、施設間の連携の余地がある。そして時代のニーズに合わせて施設を修繕したり、システムの導入をしてほしい（SNS・Wi-Fi、飲食スペース、授乳室など）。

・次世代に引き継ぐために一番大きいのは、まず個々のことが多いので、もっと大きなまちづくり、地域づくりについての話し合いはないのかという意見があった。それに基づき、市の計画も成り立っていくものだと思うので、地域や市民がどういうふうになっているのかを形として出すべきではないか。この会に要望でもあるが、そういうことを考える機会をいただきたい。地域のための施設と市全体のための施設の両方が混在していて、それを一緒にしようという計画が最初にあり、私たちは複合施設が決まったものだと思っていた。しかし、そこも含めてもう一回考え直して良いという良い機会をいただいた。

・皆に関心を持ってもらうために、地域への情報の開示として、回覧板を回すなど、お願いができないだろうか。また、貸し出す部屋をもっとこうした方がよいのでは、ということもSNSの活用でしたり、公園を守るために樹木医や自然保全の専門家を育成し、さらに次世代につなげていくなど、皆さんの思いをつなげていくためにしたら良いのではないか。

・次の建て替えのことももっと考えてほしい。総合的に全体を見るためには必要なこと。複合施設だけではなく、道路整備も含めてもっともっと先のことも考えていかなければいけない。

< 講 評 >

・小山委員

最初の1時間20分程度は、分厚い資料を見ながらの確認作業であったので大変だなと思いつつも、皆さんが発表したように、あのような情報があったからこそ、議論ができたのではないかと思う。一方、私が所属したグループでは、最初に今日説明いただいた資料を見て、後から建物を見た方が良かったのではないかと、この意見もあった。

各班のお話を伺い、いずれも共通している点がとても多かったと感じた。他方、効率化・複合化というのは実現のための手段、考え方であり、どういうふうにつなげていくかが重要である。また、これも私の班で話題になったが、利用していない人の意見をどう取り入れるのか、今後の利用見込みはどうか、あるいは最後のEグループからあったが、ランドデザインをどういうふうを描いて、こ

の「まちづくり」をやっていくのかという視点が大切で、その先に方法や手段の検討がある。そうした共通理解が少しずつ見えてきたような気がするので、今後の皆さんの議論に期待したい。

・山口委員

前回、第2回に参加できなかったのですが、第2回の議論と今回の議論がどのように違うのかはわからないが、第2回のまち歩きと、今日の運営面の説明を市からしていただき、皆さんそれぞれが普段利用している中で感じている問題意識というのがあると思うので、それに加えて、こういった検討会を通じてそれぞれの施設の理解を深めていただき、そこから出てくる問題意識が出てきたのではないかと。この2回目、3回目を通じて、個々の施設面、機能面での課題や要望は深堀りできたのではないと思う。ただ、Eグループからもお話があり、小山先生からもお話があったように、個々の施設の議論だけでなく、まちづくり全体の議論をきちっとしていく必要があるのではないかと。市の予算には限りがあるということで、施設の更新にあたっては、効率性と機能の充実を両立させていかなければならないので、そういった観点からも、まちづくりの議論は避けて通れない。そちらをきちっと作りこんだうえで、個々の施設の機能面をどこまで予算の範囲内で充実させていく必要があるのか、といったことに、ある程度皆さんの意見をいただき、議論が発散しても良いということだったが、これからは、きちっと収束させていくという形で、議論を進めていかなければいけないのではないかと。引き続き、皆様のご協力をいただきながら、意見の集約を図っていけたらと思っている。

・山本委員

今日のお話でいろいろ出たが、前回コメントで、残すものと変えるものがあるということで、今日の、残すものも必要だよ、それをこれからどう考えていくのか、ということを考えなければいけないだろうと思った。その中で、すでにお話があったように、まちづくりの視点を入れていかなければいけないというのは、間違いないだろうと感じた。その中で大事なものは、前回も申し上げたが、ハードとソフト両方ないとまちづくりは起きない。今回ずっとハード系の議論をしてきたが、これからやっていく必要があるのは、ソフトの話である。ソフトの話というのは、例えば行政に「何かやってよ」という話ではなく、むしろ住民である皆さんが何ができるのか、どこまでできてどこからはできないから、行政とタッグを組んでいくのか、こういった話をしていくのだろう。

この話をするとき、2つポイントがあると思う。1つは、面的に考える。これがまさに淵野辺駅南口のことだと思ふ。淵野辺駅南口のまちづくりを面的にどうしていくのか。これが面的な話。もうひとつは、先ほどもCのグループでも話をした

が、「つながり」である。例えば、防犯活動とかあるが、これは人と人とのつながりが無ければできない、ソフトのまちづくりである。こういったものがベースにあって、その中で、今すでにハードとしてあるものをどうしていくのか、というのをセットで考えていくことがこれからの淵野辺の南口のまちづくりでは大事なポイントだと思うので、そういったところをこれからのこの市民検討会の中で議論できたらと考えている。引き続き、よろしく願いしたい。

・小島委員

E班は非常に議論が盛り上がった。今日は公共施設の個々の話から議論させてもらったが、「いや、ちょっと待ってくれ」ということで、全体的にまちづくりの視点ってどこに行ってしまったのということも、お話させてもらった。すごく面白い議論がたくさんできていて、個々の議論というのと全体的に考えていかなければいけないという両輪でやっていくというのが、まちづくりの中で大事なんだと、今日考えさせられた。

また、「次世代に引き継ぐため」の中で、たくさんのアイデアが今回出たのがすごく面白かった。SNSを使いましょう、また一方でアナログのツールを使っていくことで情報共有することが重要なんじゃないかということ。また、公共施設の中で、ルームシェアができれば面白いのではないかと、といったたくさんの新しいアイデアも出てきたのが面白かった。こういうのを積み重ねていくことで、今後のもっと大きい全体的なランドデザインの方にも関わるようなアイデアに収束できたら、この会も面白いのではないかと思った。あと、私は公園の生物担当なので、そろそろその辺も強めに発言をさせていただこうかなと思うので、どうぞこれからもよろしく願いしたい。

・鈴木会長

今日は大変な資料を作成いただき、ありがとうございました。整理をしていただき、大変よくわかったが、その中で、色分けで「共用のスペース」などというところで、1つ引っかけた。それは、「貸室」というような概念が出てきたことである。図書館は「閲覧」と書いてあり、他のところは「貸室」であった。貸室ではなく、そこが一番重要な部分であり、「貸室」を「活動」とすればよいのかなと思った。そこが何をやっているのかということ強調するためのものなので、会議室も「あそこの会議室も、ここの会議室も同じだ」ではなく、「あそこで活動していることと、ここで活動していることは共通の部分もあり、そうでない部分もある」、そのような発想をしないと、施設を統合するなどとなったときに、モノのところだけで話が終わってしまうようなことがあるかもしれないので、気をつけなければならぬと思った。

もうひとつ、今回は運営ということだったが、何かその部分に出てこないのが、例えば、ボランティアの方がどれだけ活動しているのかということもあるし、施設の運営等にどれだけ市民の方々が関係しているのか、ということが抜けているような気がする。ひとつだけ、公民館運営協議会と書いてあったが、法律用語では、公民館運営審議会というもので、こちらでは協議会と言っている。その辺りの問題もちょっと気を付けておかないと、「建物だけあれば」というようなことになりかねないと思った。それが今日感じた2つ目である。

また、この地区の間での連携、ネットワークということで、それを良くしよう、意味あるものにしていこう、有機的にやろうというのはわかるが、例えば公民館は全市的にいろんなところがあり、そのネットワークはどうなのか。図書館は、市内もそうだし、県全体、国全体、世界とつながるのか、そういうことではどうなのか。そういう方向でのネットワークみたいなものも考えなければいけないのかなと思った。あまり考えていると、際限なくなってしまうが、どういうところで、どういう部分で、ここの協議会で考えるか、検討会で考えるかということをもたえながら、まちづくりというところへ集約する。その中での施設の役割ということで、今後を考えていけばよいのかなと思った。

3 その他

事務局より、次回の第4回市民検討会は7月2日(火)午後7時からの開催を予定しており、詳細については、決まり次第お知らせする旨を伝えた。

以上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
飯高 千里	欠席
植田 憲司	欠席
茅 弘秋	欠席
今 美和子	出席
佐野 玲希	出席
白石 一郎	出席
畑 耕一	出席
山林 亮太	出席
渡辺 章	出席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
安達 和夫	出席
内田 清	出席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	出席
佐伯 明美	出席
瀬戸 凌太郎	欠席
高柳 眞木子	出席
平本 峻	欠席
矢部 裕子	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯沼 容子	欠席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
岸本 孝史	欠席
山口 清孝	出席
城田 大介	出席
狭間 宏明	出席
北條 幸治	出席
前田 智恵子	出席
山本 有紀	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
押田 佳子	欠席
小島 仁志	出席
小山 憲司	出席
鈴木 眞理	出席
野口 直人	欠席
山口 直也	出席
山本 匡毅	出席